

Ibara City Hospital

井原市立 井原市民病院

診療科目

内科・外科・整形外科・眼科
泌尿器科・放射線科・耳鼻咽喉科
リハビリテーション科・婦人科
小児科

〒715-0019 岡山県井原市井原町1186番地

TEL.0866-62-1133 FAX.0866-62-1275

E-mail:byoin@city.ibara.okayama.jp

発行責任者/原藤 和泉

新年度を迎えて



病院長 原藤 和泉

医療界は今、大変厳しい局面に立たされております。医療費の抑制や医師・看護師不足で、医療崩壊といわれております。井原市民病院においても医師不足は深刻な問題で、医師確保の努力はしておりますが、その充足のめどは立っていないのが現状です。確保できた医療資源に見合った診療体制で当面を乗り切らざるを得ません。その中で、昨年度を何とか乗り切ることができましたのも、市民の皆様のおかげと感謝しております。今年度もよろしくお願い申し上げます。

昨年度を振り返って見ますと、まず積年の課題でありました電子カルテシステムを導入しました。導入に際しましては一部で混乱もありご迷惑をおかけいたしました。導入後六ヶ月を経過しましたが、運用上いまだに手間取ることもありますし、また医師のカルテへの入力業務の補助として、職員により病状などをお聞きし、情報を入力させていただくこともあります(問診)。この点につきましてはご理解とご協力をお願いいたします。次いで受動喫煙防止のため施設内のみならず敷地内を全面禁煙としました。来院された皆様方のご協力に感謝しております。敷地内禁煙の実施と同時に、健康保険を使った禁煙治療を行う禁煙外来を開設しました。毎週水曜日午後予約制で受け付けております。タバコの害は疫学調査ではっきりしています。「禁煙しよう」と決意されたら受診をお勧めします。地域連携室に相談ください。玄関ホールにピアノを移設しました(院内に休眠状態で置かれていました)。ボランティアの方のご協力で定期的演奏や、ミニコンサートも何回か開催することができました。ご協力いただいた皆様に御礼申し上げます。今後も継続して開催できればと思っております。またピアノ演奏にご協力いただけた方がおられましたら事務部の渡辺までご連絡ください。

本年度は国の方針により平成23年に廃止が決定している介護型療養病床(24床)を医療型療養病床に転換し、医療型療養病床を60床で運用します。またよりいっそう電子カルテの運用に習熟し、効率的な診療に努めてゆきたいと考えております。また平成22年の日本医療機能評価機構による再認定に備え、院内体制の見直し、強化を進めるとともに、地域連携室の機能強化をはかり、医療、福祉、介護、栄養などについての相談窓口の設置を予定しております。こうした連携室業務を通して、市民の皆様によりよい医療サービスを提供してゆきたいと思っております。地域の皆様に愛され、信頼される病院であるように自己研鑽に励むとともに、職員・職種間の連携をより強化し、チーム医療の実践により皆様のお役に立てる医療を提供してゆきたいと思っております。引き続きご理解、ご支援くださいますようお願い申し上げます。

禁煙外来

平成20年から週一回の禁煙外来をはじめています。これまで10名の患者さまが禁煙に成功されました。

禁煙治療のスケジュール

保険診療においてチャンピックス(禁煙治療経口補助薬)を服用される方は、12週にわたる禁煙治療を受け計7回通院していただけます。診察ではチャンピックスの処方だけでなく、息に含まれる一酸化炭素の濃度の測定や、医師からの指導を受けます。

この禁煙治療のスケジュールどおりに診察を受け、チャンピックスを12週間最後まで服用して禁煙を継続させることができれば成功です。

※呼気一酸化炭素濃度測定：一酸化炭素は、タバコの煙に含まれる代表的な有害物質です。禁煙により、息に含まれる一酸化炭素濃度が短時間で減少するので測定結果を記録しておくことと禁煙の効果を実感できます。



国際腫瘍マーカー学会賞の受賞

井原市民病院内科
岡山大学名誉教授
前院長 武田 和久



国際腫瘍マーカー学会賞を、昨年10月5～9日に東京で開催されました第36回国際腫瘍マーカー学会で受賞し、井原市民病院の方々からお祝いをして頂きました。この学会は International Society of Oncology and BioMarkers (ISOBM) と呼ばれ、癌の診断・治療に役立つマーカー(指標となる分子)を研究している世界の臨床、基礎の研究者が年一回開催しているものです。Abbott社が後援しているこの国際学会賞の ISOBM Abbott 賞は α -fetoprotein (AFP) 発見者の Gary Abelev (Moscow) や carcino-embryonic antigen (CEA) 発見者の Phil Gold (Canada) 等が受賞していますので、私としてもこの上ない光栄なことです。

受賞の対象となりました私の研究は AFP 関係の一連のもので、特に肝細胞癌に特異性の高い糖鎖を有する AFP-L3 の高感度測定法を開発し、それが臨床の場で広く使用されていることが評価の一因になったものと思われます。したがって、私の受賞講演も "Clinical aspects of AFP and its sugar chain" (AFP とその糖鎖の臨床的意義) という演題で行いました。AFP-L3 は極めて肝細胞癌に特異性が高く、一度陽性になった肝細胞癌の症例では、AFP-L3 が消えるまで治療しないと再発することが分かっており、また AFP 自体は肝細胞癌の発生予知マーカーとして重要なことを述べました。



健康教室のご案内

当院では、毎月1回、「健康教室」を開催しています。
・日時：毎月第4金曜日、11:00～12:00
・場所：玄関ロビー
・参加費：無料

<今後の予定>

- 5月22日
「内臓脂肪と皮下脂肪」 診療放射線技師
「脳トレーニング」 理学療法士
- 6月26日
「介護食」 栄養士
「介護保険制度について」 社会福祉士

なお内容については、院内にポスターを掲示しご案内させていただきます。お気軽にご参加ください。

井原市民病院基本理念

1. 患者の権利を尊重し、情報提供によって患者が納得出来る医療を行い、地域住民に信頼される病院を目指します
1. 医学の進歩に相応した高いレベルのしかも安全管理が行き届いた医療が行えるよう、日々研鑽に励みます
1. 地域医療体系の一環として相互の連携を密にし、機能分担を考慮した効率的な医療を提供します
1. 医療を受ける側の身になって考え、暖かい心の手を差し伸べることを忘れません

井原市民病院職員の誓い

1. 私たちは、市民の生命(いのち)と健康を守り、心のこもった診療をいたします。
2. 私たちは、質の高い医療を目指し、日々研鑽いたします。
3. 私たちは、病める人の身になって考え、最善の理解者となるよう努力いたします。

ボランティアコンサート

平成20年度にミニコンサートをしてくださった方々です。いろいろな生の楽器の音色や歌声は心を癒してくれます。今後も楽しいコンサートが開かれますよう、ご協力よろしくお願いたします。



- 第1回 崎谷由佳利様・・・トランペットコンサート
- 第2回から年7回 山本啓子様・・・ピアノコンサート
- 第4回 齋藤慶子様・・・ピアノコンサート
- 第6回 藤代様以下数名・・・二胡とピアノの演奏会
- 第7回 塩飽容子様、塩飽喜子様・・・歌(ソプラノ)とピアノのアンサンブル

- 第10回 関戸倫子様・・・ピアノコンサート
- 第11回 井原吹奏楽団の皆様・・・クラリネットとオーボエのアンサンブル
- 第12回 山本啓子様と新市 Music セラピーの皆様、及び病院職員・・・オカリナとハンドベル演奏によるクリスマスコンサート (以上14回)



※ミニコンサートについてのお問い合わせは病院事務所まで。

笑顔の絵画展

2月9日から2月20日まで市内の幼稚園と小学生による笑顔の絵画展を開催しました。ポスターコンクールで応募され選ばれた40点の作品を展示させていただきました。

われわれ職員も忙しさのあまり時には笑顔を忘れて患者様と接していることがありますが、職員一同さわやかな笑顔を忘れずに日々業務に取り組んでいきたいと思います。

素敵な笑顔を描いてくださった皆様、ありがとうございました。



地域医療連携室より

4月より紹介患者様の受付等をスムーズに行えるようカウンター右側に「地域医療連携室」の窓口を設けました。紹介状をお持ちの方、検査(CT MRI 骨塩定量)の紹介状をお持ちの方、ドッグの精密検査をされる方の受付をします。また患者様やご家族の方の医療・福祉に関する様々なご相談の窓口や関係機関へのパイプ役となれるよう、努力していきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



ありがとうございます

病院玄関前の花壇にボランティアの皆様がたくさんのお花を植えて下さいました。春の日差しを受け色とりどりに美しく咲いています。

ちょっとした心遣いで皆を楽しませてくれてありがとうございます。



こゝろ

NAHAマラソン



5F病棟 看護師 室山 美智子

48才の時、姉の出場するフルマラソンの応援に沖縄に行ったとき、約2万7千人という人の波に圧倒され感動しました。応援するつもりが走る姿に逆に励まされ、私も出場してみたいと思いマラソンを始めました。

練習が嫌いな私でしたが少しずつ頑張り、負担の大きいNAHAマラソンに2回出場し完走しました。

これからはこれまでの苦勞を昇華させ、前向きな人生にしたいと思っています。走ることが今の仕事のパワーになっています。

お疲れナースのソウル旅行

2月某日、私は同僚のMちゃんと一緒に、今話題の韓国ソウルに2泊3日で旅行に行きまして。旅行の目的は、もちろん韓国のグルメと、ウォン安でお買い得なショッピング。更に韓国の文化体験と盛りだくさん。

旅行を決めてからは、ガイドブックやインターネットを駆使して、情報収集を念入りに行い備えていたのですが、実は、旅行前日、この旅行が催行できるか否かの極めて微妙な事態が私を襲っていました。しかし、そこは『絶対に行く!!』と強く念じて克服。

朝には完全復活して、いざソウルへ・・・

到着してまず免税店へ。すぐに目に入ったのが、日本人のおばちゃん達が形成していた黒山の人だかり。その奥には、イッコウさんの等身大パネル。どうやらイッコウさんがお薦めしたBBクリームにみんな群がっていたようです。まるでサザエさんのバーゲンセールのようなその光景の中で、BBクリームを何個も何個も購入するおばちゃん達の姿が、韓国に到着したばかりの私にはかなり異様に映ったのは言うまでもありません。

ここから、旅行が本格的にスタートしましたが、楽しかった全ては書ききれないので、ソウル旅行の思い出ベスト3と題して、お送りします。

まず、第3位、地下鉄とスーパーの初体験。

韓国の地下鉄は東京などの地下鉄とようは同じですが、何とんでもハングルがわからないので、不安はつのるばかり。初めて乗って目的地に降りた瞬間は本当に嬉しかったです。どこまで行ってもほとんどの区間が1000ウォンで乗れるので、ソウルに行く予定のある方は、是非チャレンジしてみてください。また、スーパーは食料品がイッパイもちろんハングルだらけ。この2体験はソウルの人の生活圏に足を踏み入れる感じでもとても緊張した瞬間だったので。

ここで一つ、時期が時期だけに、今ソウルには日本人が本当にたくさん行っています。日本語も殆どの場所で通じます。だからこそ、少しでも観光客の少ない地下鉄やスーパーの体験は新鮮な感じがして第3位というわけです。

第2位、ショッピング。買いましたよ～、日本では買わないであろう、ブランド物ですが、買わないと損する気分になりました。冷静ではいられない感じで買ってしまいました。

第1位、韓国文化体験。今回は陳さんのお宅におじゃまして、韓服を着て、韓国の茶道や礼儀作法を習いました。更にキムチを漬けたり、韓国の家庭料理をご馳走になったりしました。韓国では、いろんな動作を両手でします。握手をするときも、何かを渡したり受け取ったりする時も片手だけではなく、必ず左手を添えるので、なんか素敵だと思いませんか、相手を敬う気持ちが現れているそんな気がしました。

ソウルのグルメについても高級料理からB級グルメまで味わい尽くし、もちろんエステも体験しました。爆笑旅行の中身をお届けしきれないのは残念ですが、あつという間の3日間、日ごろの疲れやストレスも吹っ飛びました。

4月からは燃油サーチャージが更に安くなって益々行きやすくなるソウルです。皆さんも行ってみたいはかがでしょうか？



3F病棟 看護師 藤井 亜弥

職員短信

どうぞよろしくお願いいたします。



医事係 主任 片岡 達志



庶務係 主任主事 津組 勇一郎



3階病棟 看護師 仁科 吉恵



3階病棟 看護師 廣恵 久美子



3階病棟 看護師 畑 浩子



4階病棟 看護師 中島 よしえ



4階病棟 看護師 杉 貴美



4階病棟 看護師 妹尾 康子



4階病棟 看護師 藤澤 恵子 (囑託)